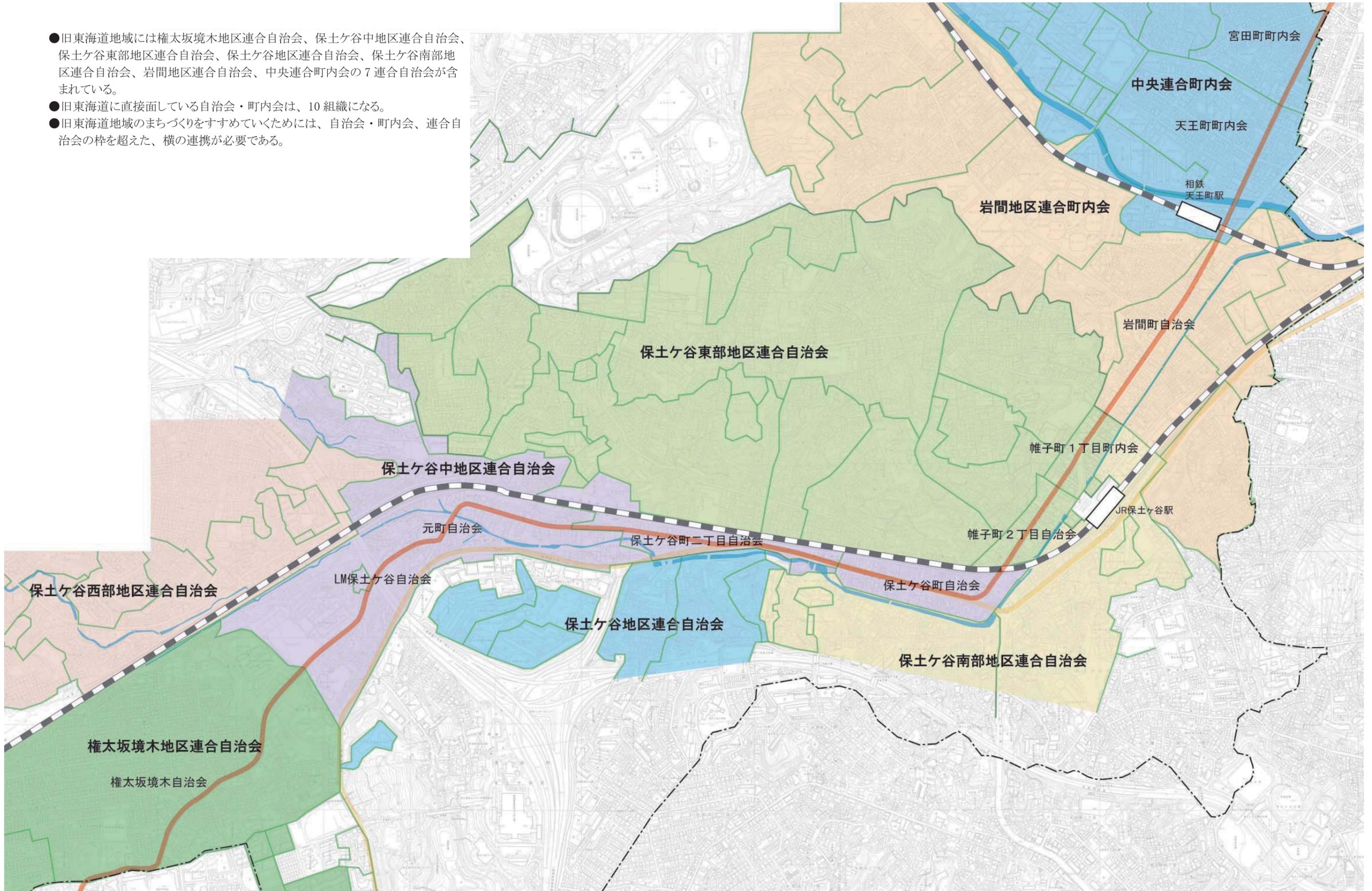


# 4. まちの構成

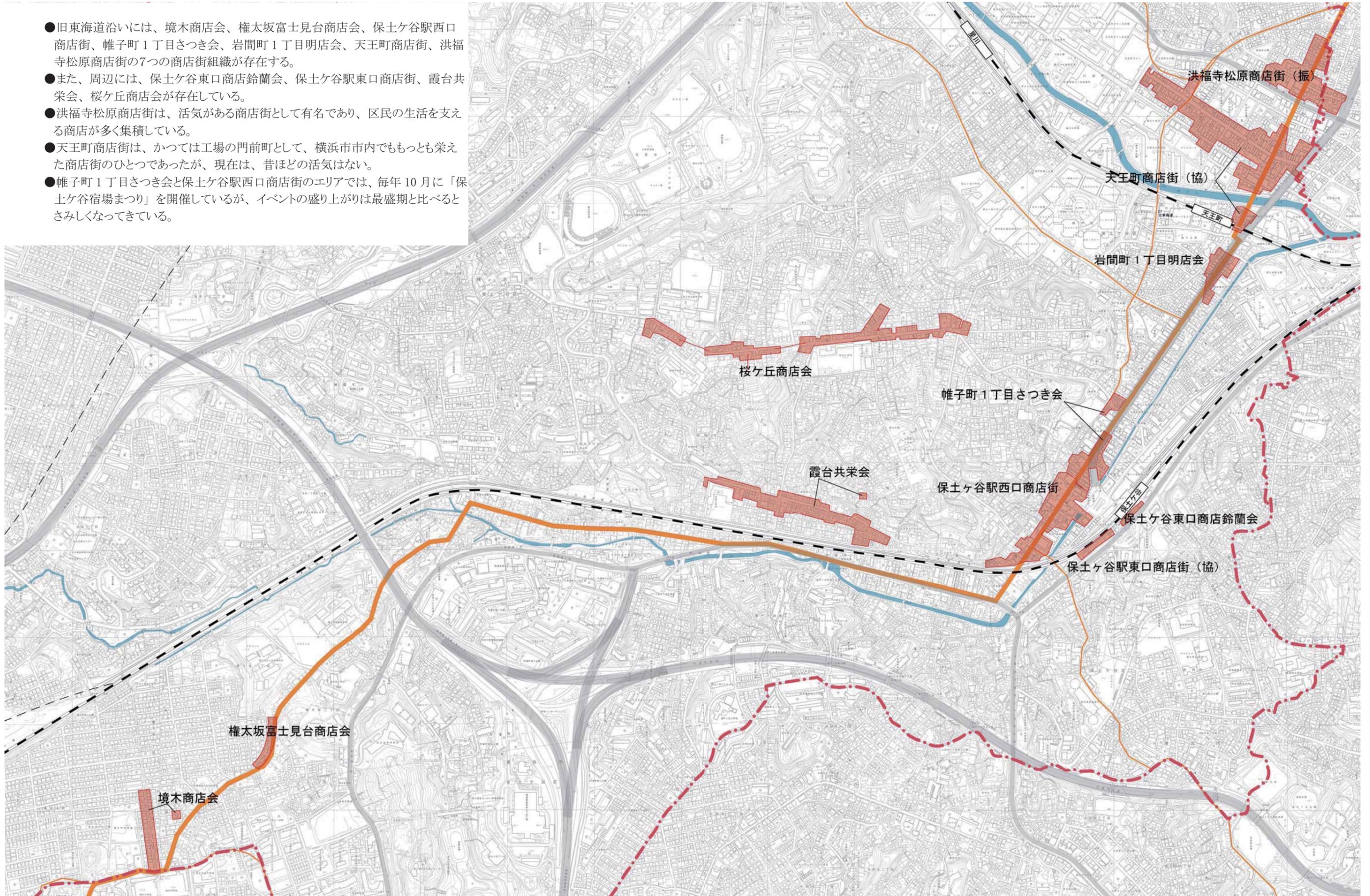
## 1. 自治会・町内会

- 旧東海道地域には権太坂境木地区連合自治会、保土ヶ谷中地区連合自治会、保土ヶ谷東部地区連合自治会、保土ヶ谷地区連合自治会、保土ヶ谷南部地区連合自治会、岩間地区連合自治会、中央連合町内会の7連合自治会が含まれている。
- 旧東海道に直接面している自治会・町内会は、10組織になる。
- 旧東海道地域のまちづくりをすすめていくためには、自治会・町内会、連合自治会の枠を超えた、横の連携が必要である。



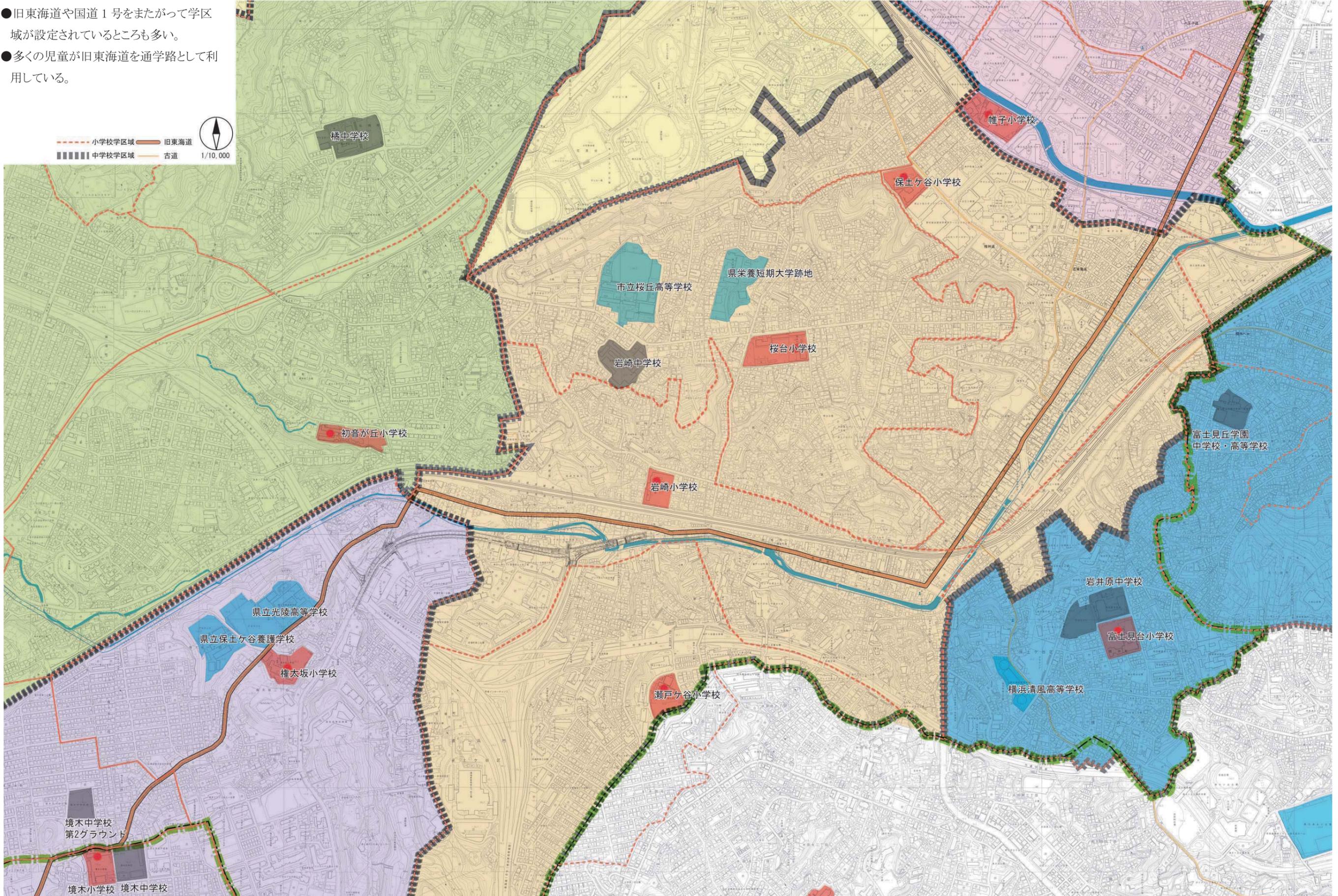
## 2. 商店街

- 旧東海道沿いには、境木商店会、権太坂富士見台商店会、保土ヶ谷駅西口商店街、帷子町1丁目さつき会、岩間町1丁目明店会、天王町商店街、洪福寺松原商店街の7つの商店街組織が存在する。
- また、周辺には、保土ヶ谷東口商店街、保土ヶ谷駅東口商店街、霞台共栄会、桜ヶ丘商店会が存在している。
- 洪福寺松原商店街は、活気がある商店街として有名であり、区民の生活を支える商店が多く集積している。
- 天王町商店街は、かつては工場の門前町として、横浜市市内でももっとも栄えた商店街のひとつであったが、現在は、昔ほどの活気はない。
- 帷子町1丁目さつき会と保土ヶ谷駅西口商店街のエリアでは、毎年10月に「保土ヶ谷宿場まつり」を開催しているが、イベントの盛り上がりは最盛期と比べるとさみしくなっている。



## 3. 学区

- 旧東海道や国道1号をまたがって学区が設定されているところも多い。
- 多くの児童が旧東海道を通学路として利用している。



# 5. 地域ニーズの把握

## 1. 保土ヶ谷満足度調査（平成 18 年度）より

### 1.1 保土ヶ谷満足度調査と、構想の策定に向けた分析の概要

構想の策定に向けた分析に当たっては、保土ヶ谷満足度調査結果から、旧東海道地域にあたる町丁目を抽出し、以下の三つのエリアに分け、それぞれのエリア相互や、区全体、旧東海道地域全体の結果と比較し分析する。

- ・帷子・岩間・天王町エリア：旧東海道沿いの平地で、商店街が連なるエリア（天王町1～2丁目、岩間町1～2丁目、帷子町1～2丁目）
- ・保土ヶ谷・瀬戸ヶ谷エリア：国道1号と今井川、JRが通る、谷状のエリア（瀬戸ヶ谷町、保土ヶ谷町1～3丁目）
- ・権太坂・境木本町エリア：丘陵地に広がる住宅地のエリア（権太坂1～3丁目、境木本町）

※この分析では、エリア毎の特徴が出ている項目・選択肢を満足度調査結果から抜粋して記載しています。

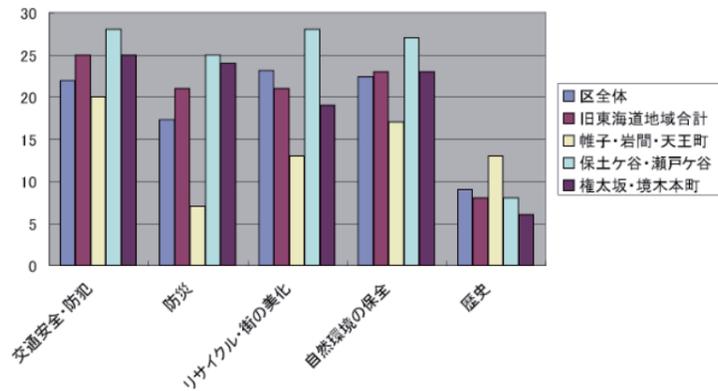
**保土ヶ谷区満足度調査の概要**

調査地域：保土ヶ谷区全域  
 調査対象：保土ヶ谷区に居住する18歳以上の男女個人  
 標本抽出：住民基本台帳から無作為抽出  
 調査方法：郵送配布郵送回収  
 調査時期：平成18年9月  
 標本数：3,000 標本  
 回収率：58.0% (1,741 件)  
 目的：区民の日常生活に関わる様々な事項について、区民のニーズや意向を的確に把握し、今後の区政運営の方向性を検討するための基礎資料とすること

### 1.2 集計結果

#### 問 あなたは、ご自身が参加するとしたら、どのような分野の活動に興味がありますか？（複数回答可）

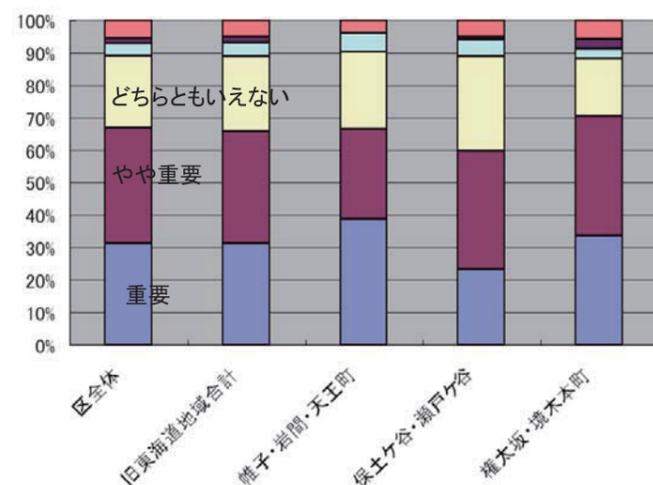
- ＜帷子・岩間・天王町エリア＞ 防災やリサイクル・街の美化に対しては興味が低いが、歴史に対する興味が、他のエリアより高くなっている。
- ＜保土ヶ谷・瀬戸ヶ谷エリア＞ 区全体や旧東海道のほかのエリアに比べて、交通安全・防犯、防災、リサイクル・街の美化、自然環境の保全への興味が高い。
- ＜権太坂・境木本町エリア＞ 防災に関する興味が、区平均に比べて高くなっている。



	調査数	交通安全・防犯	防災	リサイクル・街の美化	自然環境の保全	歴史
全体	1741	381	302	402	390	156
旧東海道地域合計	233	58	48	48	53	19
帷子・岩間・天王町	54	11	4	7	9	7
保土ヶ谷・瀬戸ヶ谷	75	21	19	21	20	6
権太坂・境木本町	104	26	25	20	24	6

#### 問 あなたにとって、街並み景観の整備はどの程度重要だと思いますか？

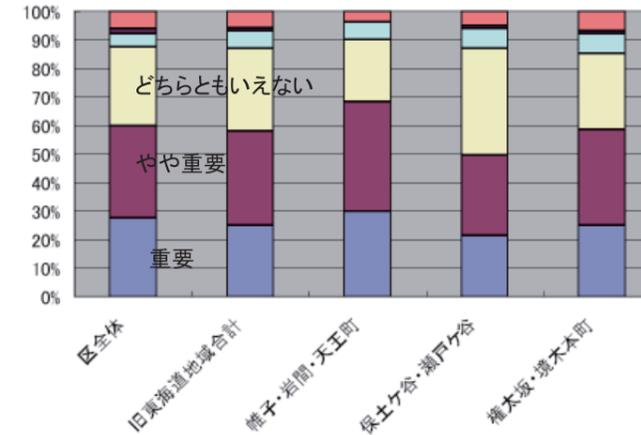
- ＜帷子・岩間・天王町エリア＞ 「街並み景観の整備」を重要だと考える人が、区全体の平均を7.8%上回る39%となっている。
- ＜保土ヶ谷・瀬戸ヶ谷エリア＞ 「街並み景観の整備」を重要だと考える人の割合は、区全体の平均を8.2%下回る23%である。



	調査数	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない	無回答
全体	1741	544	622	383	65	27	100
旧東海道地域合計	233	73	80	54	10	4	12
帷子・岩間・天王町	54	21	15	13	3	0	2
保土ヶ谷・瀬戸ヶ谷	75	17	27	22	4	1	4
権太坂・境木本町	104	35	38	19	3	3	6

#### 問 あなたにとって、商店街や企業の振興はどの程度重要だと思いますか？

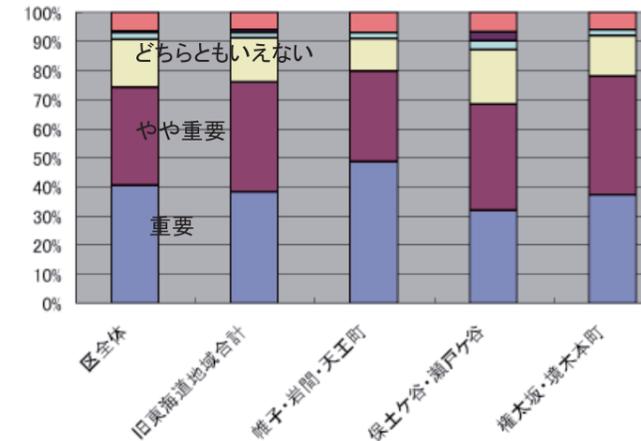
- ＜帷子・岩間・天王町エリア＞ 「商店街や企業の振興」が重要もしくは、やや重要と答えた人は、合わせて69%となっており、旧東海道地域では、このエリアのみが区全体の平均を上回っている。
- ＜保土ヶ谷・瀬戸ヶ谷エリア＞ 「商店街や企業の振興」が重要もしくは、やや重要と答えた人は、合わせて49%となっている。
- ＜権太坂・境木本町エリア＞ 「商店街や企業の振興」が重要もしくは、やや重要と答えた人は、合わせて59%となっている。



	調査数	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない	無回答
全体	1741	476	562	483	82	32	106
旧東海道地域合計	233	58	77	68	15	2	13
帷子・岩間・天王町	54	16	21	12	3	0	2
保土ヶ谷・瀬戸ヶ谷	75	16	21	28	5	1	4
権太坂・境木本町	104	26	35	28	7	1	7

#### 問 あなたにとって、緑地保全・緑化推進や水辺環境の整備はどの程度重要だと思いますか？

- ＜帷子・岩間・天王町エリア＞ 緑地保全・緑化推進や水辺環境の整備が重要と答えた人が48%で、3つのエリアで最も高い。
- ＜保土ヶ谷・瀬戸ヶ谷エリア＞ 緑地保全・緑化推進や水辺環境の整備が重要と答えた人は、32%で、三つのエリアで最も低い。



	調査数	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない	無回答
全体	1741	703	589	283	40	11	115
旧東海道地域合計	233	88	88	35	5	2	15
帷子・岩間・天王町	54	26	17	6	1	0	4
保土ヶ谷・瀬戸ヶ谷	75	24	28	14	2	2	5
権太坂・境木本町	104	38	43	15	2	0	6

### 1.3 満足度調査から見てくる3つのエリアの傾向

#### 帷子・岩間・天王町

- ・このエリアは、他のエリアに比べて歴史に対する興味が高い。これは、今までに歴史に関する取組みを進めてきた成果が出ていると考えられる。
- ・このエリアは、街並み景観の整備も緑地保全・緑化推進や水辺環境の整備も重要だと考える人の割合が高い。旧東海道地域の中心となるエリアとして、また、保土ヶ谷を代表する駅前の街並みとして、街並み景観と自然環境の保全のどちらもが重要なまちづくりのテーマである。
- ・このエリアは、商店街や企業の振興も重要なまちづくりのテーマである。

#### 保土ヶ谷・瀬戸ヶ谷

- ・区全体や旧東海道のほかのエリアに比べて、交通安全・防犯、防災、リサイクル・街の美化、自然環境の保全に興味が高い。
- ・このエリアの区民の興味の高さを、協働によるまちづくりの推進に活かしていくことが重要である。

#### 権太坂・境木本町

- ・このエリアは、街並みや自然環境といった面に関しては、ある程度のレベルの住環境が備わっているエリアであるため、分析した調査項目に関しては、突出した数値は出ていない。今後は、現在の住環境を守り育てていくことが重要である。

■保土ケ谷の「ウリ」=歴史の重層性

- ・旧東海道沿いのエリアは、「保土ケ谷宿」があったこともあり、人口が集中し、横浜の生活文化を形成する一つの拠点として発展し、人々の生活・なりわいが積み重なってきた。
- ・経済圏や社会の変化に柔軟に対応しながら、それぞれの時代で顔を持ってきた、歴史が重層するまちであり、これが保土ケ谷の一つの特徴である。



浮世絵に描かれる保土ケ谷の様子

- ・江戸時代以前：丘陵部の古墳、中世豪族の拠点など、古くから人が住みついた要衝
- ・江戸時代：旧東海道宿場町として交通・経済・文化の要衝
- ・明治～戦前：ビール、ワイン、製糸業など港町の文明開化を支える生産機能を有するまち  
鉄道の発達による、ゴルフ場、花見の名所など行楽地としての発展  
格調の高い住宅地としての発展
- ・現在：住宅地としての発展



工場の門前町として栄える天王町商店街の様子

・保土ケ谷における歴史=人々の生活文化・なりわいの積み重ね

※「なりわい(生業)」:様々な「わざ」を活かしながら、生活に密着しつつ営まれる産業、家業など。

■活発な市民活動と近年の社会状況

- ・東海道保土ケ谷宿四〇〇倶楽部、ほどがやガイドボランティアの会、夢塾などのこれまでの取り組みを経て、保土ケ谷の歴史に関心があり、具体的な活動を起している組織が増えている。
- ・平成16年度より、区の事業で、区内で様々なテーマで活動している市民活動家を集め、「ほどがや協働まちづくり工房」として、情報・人材ネットワークを活かしながらまちづくり事業を進める取り組みが始まり、そのメンバーは現在も、まちづくり支援組織「保土ケ谷まちづくり工房」として活動を継続している。
- ・ここ数年のうちに大勢の団塊の世代が地域にデビューする。団塊の世代が持っている様々なノウハウ・知識などを地域に活かしていくためには、受け皿となる組織が必要である。
- ・近年のウォーキングブームで旧東海道沿いを散歩する人が増えおり、魅力をPRする絶好の機会である。



宿場まつりにおける宿場のまちなみ模型の展示



ほどがや協働まちづくり工房の中で区民との協働で実現した武相国境モニュメント

■問題意識

- 保土ケ谷は、大都市に近く、住む立地としては恵まれているが、住環境はより良くしていく必要がある。
- 保土ケ谷は常に変化してきたまちであり、特に高度経済成長期以後の開発・整備により無秩序なまちなみとなっている地区が多い。



旧今井川を暗渠化する際、石垣は残しているが埋もれており、歩道としての利用もされておらず無駄な空間となっている。



本陣へのビスタが電柱・広告等によって阻害されている

- 多くの「人々の生活文化・なりわいの積み重ね」や歴史資源が存在しているが、それらを活かしていない。



手彫りの印鑑屋さんにあるこだわりの道具



郷土史家の家に残る、昔の保土ケ谷の街並みのスライド

左写真以外にも、  
・薬局で昔使っていたすり鉢  
・老舗の石材屋さんにある、昔の石工が使っていた道具  
・脇本陣に残る江戸時代の宿帳など、「なりわい」や技術を物語る物や人が多く存在。



電柱等が錯綜している其爪の碑周辺

- 旧東海道周辺地域では、今井川の河川改修や国道1号の拡幅整備など、実施中・計画中の事業がある。これらの事業と連携をとりながら「歴史を活かしたまちづくり」をすすめていく必要がある。
- 多くの歴史やまちづくりに関するハード・ソフト事業が、個別に実施されてきた。それぞれに成果はあったが、その成果をまちづくりに生かされていない。
- 「保土ケ谷区まちづくり計画」や「保土ケ谷駅周辺地区プラン」を策定したが、具体性・実現性に乏しい面がある。
- 既存の計画等に必ずしも位置づけられていない松並木プロムナード事業などがあり、保土ケ谷全体のビジョンと実現のための戦略の再編が必要である。



拡幅整備中の国道1号



松並木プロムナードプロジェクトの活動の様子

■まちづくりの方向性

1. まちなみを整序し、歴史の重層性を活かし、良好な住環境の創造と、地域の活性化を図っていく必要がある。
2. 活発な市民活動や社会の状況を踏まえ、様々な団体等と連携をとりながら、まちづくりに興味を持つ人の受け皿となる組織を設け、構想を策定し、事業を推進していく必要がある。

歴史まちなみ基本構想の策定

①実効性・実現性の高い環境整備の構想を創る。

→保土ケ谷のビジョンを再編し、その実現のためのハード・ソフトを含めた事業や、事業実施における行政と区民の役割分担を明確にするなどして、構想の実行性・実現性を高める必要がある。

②構想をもとに事業を戦略的に推進する体制・組織を創る。

→社会状況の変化に柔軟に対応しながら、構想の実現を一貫して推進する組織づくり、体制づくりが必要である。

凡例

-  緑地の保全
-  歴史的建造物の保全
-  寺社、その他の歴史資源の保全と周辺環境整備
-  眺望や見通し景観の保全・創出
-  重点的に街並みの整備を進めるエリア
-  まちなみ景観の保全を図るエリア
-  エリア区分
-  旧東海道ルート
-  国道1号

**なりわい形成エリア**  
**【現状】**  
 ・旧東海道沿いには商店街が連続し、周辺には落ち着いた住空間が広がっているエリア。  
 ・個性的な商店や古くからの商店、寺社などが存在している。  
**【検討の方向性】**  
 ・点在する古くからの商店の歴史や技などを見せる「まちかど博物館」  
 ・斜面緑地や寺社、歴史的建造物である洋館付き住宅などと調和した、古東海道沿いの落ち着きと潤いのある住環境の形成  
 ・保土ヶ谷小学校跡地の活用  
 ・相鉄線の高架化と合わせた駅周辺環境整備  
 ・今井川沿いの魅力的な街路空間の形成

**保土ヶ谷町エリア**  
**【現状】**  
 ・狭い範囲に旧東海道、今井川、JR、国道1号が通っており、その両脇には斜面緑地が広がっているエリア。  
 ・今井川の河川改修や国道1号の拡幅事業が進行中  
 ・本陣周辺など、宿場の面影を感じさせる街並みがわずかだが残っている。  
**【検討の方向性】**  
 ・道路事業や河川事業との調整と周辺環境整備  
 ・本陣や本金子屋とその周辺の景観保全  
 ・斜面緑地の保全  
 ・沿道のまちなみルールづくり  
 ・保土ヶ谷駅前の旧東海道地域の玄関口としての再整備  
 ・住民と行政の協働による松並木プロムナードの維持管理

**権太坂エリア**  
**【現状】**  
 ・尾根沿いの坂道である旧東海道の周辺に住宅地が広がっているエリア。  
**【検討の方向性】**  
 ・歩行者環境の整備  
 ・沿道のまちなみ景観ルールづくり  
 ・武相国境モニュメント周辺の景観保全

・今井川へのアクセスの向上  
 ・河川沿いの緑豊かな環境の形成

保土ヶ谷小学校跡地の活用

寺社の緑や斜面緑地を活かした  
 落ち着きと潤いのある  
 住環境の形成

今井川沿いの  
 魅力的な  
 街路空間の形成

洋館付き住宅の保全や  
 歴史的な他たたずまいの  
 ある住環境の形成

国道1号や河川改修と  
 連携した環境整備

